



SLM Forum

Sustainable Lake Management



持続可能な湖沼管理の推進：共に創る未来

@琵琶湖博物館別館

オンライン配信

※開催言語：英語（日英同時通訳あり）

主催：公益財団法人国際湖沼環境委員会

2024年

9月28日(土)

10:00 am – 3:00 pm

第一部 国際パネルディスカッション (10:00 am – 12:00 pm)
「湖沼は持続可能か？」

第二部 円卓会議 (1:30 pm – 3:00 pm)
「グローバルユースと考える持続可能な湖沼管理～WLC20に向けて」

無料参加登録 ▶ <https://tinyurl.com/msspihkc>





SLM フォーラム

Sustainable Lake Management

2024年度日本万国博覧会
記念基金助成事業



持続可能な湖沼管理の推進：共に創る未来

国連環境総会の決議後、「持続可能な湖沼管理(SLM)」が国際的に注目を集め、次のポイントが重要視されています。

- ◆ 気候変動への対策や水質の改善
- ◆ 「世界湖沼デー」等、シンボリックな日やイベントの創設
- ◆ 科学者と政策立案者の連携や若い世代の参加

そこで国内外の専門家・行政官・国際機関や、企業、若手リーダー(ユース)を招き、未来に向けた解決策を議論します。

第一部

10:00 am - 12:00 pm

国際パネルディスカッション『湖沼は持続可能か？』

「湖沼は持続可能か？」をテーマに次の3点を踏まえて議論します。

- ① 「Source-to-Sea」のアプローチ: **水源から湖、川、海までを一緒に考えること**の大切さ
- ② 「世界湖沼デー」の意義: 湖沼の重要性を広めるために、どのようなインパクトを与えられるか
- ③ **次世代**のための社会的取組: 持続可能な湖沼管理を実現するための**教育や支援**

10:00

主催者挨拶 ILEC理事長 竹本和彦

10:05

ファシリテーター挨拶 ILEC副理事長 中村 正久

10:15

パネリスト紹介・発表 (各5分)



インゲ・レトノワティ (インドネシア環境林業省 内水面・マングローブ再生課長)



工藤 里恵 (環境省水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室 海域環境対策推進官)



山本 直矢 (滋賀県琵琶湖保全再生課長)



セルジオ・アントニオ・シルバ (メキシコ・グアナファト大学名誉教授、創価大学客員教授)



デイビッド・ハミルトン (オーストラリア・グリフィス大学 Australian Rivers Institute 所長)



パトリック・ムアイ (国連環境計画 (UNEP))



小玉 恵 (たねや CLUB HARIE 執行役員経営本部本部長)



ウォルター・ラスト (ILEC科学委員長、アメリカ・テキサス州立大学名誉教授)

11:00

パネルディスカッション

11:55

総括 ILEC理事 高橋 康夫



SLM フォーラム

Sustainable Lake Management

持続可能な湖沼管理の推進：共に創る未来

2024年度日本万国博覧会
記念基金助成事業



第二部

1:30 pm - 3:00 pm

円卓会議

--- 活動紹介、WLC20に向けたディスカッション、活動計画他

『グローバルユースと考える持続可能な湖沼管理～WLC20に向けて』

2025年7月にオーストラリアのブリスベンで開催する世界湖沼会議(WLC20)において、SLMに貢献するユースの活動を集約するオンラインプラットフォームを立ち上げます。日本、メキシコ、オーストラリア、フィリピン、ハンガリー、ウガンダ(他オンライン参加)の若手政治家・研究者・学生による研究やエコツーリズム、アプリを活用し、市民を巻き込む環境保全活動等、若者パワーあふれる活動や知見を世界に発信し、ユースの参画、「世界湖沼デー」制定に向けた賛同を呼びかけます。

1:30

ユースの活動を持続可能にするために

MC: 窪園 真那(立命館大学)

1:35

ユースの活動紹介



- 日本 1. 水の道をたどる:「たどる」を「たのしむ」エコツーリズム
(成安造形大学)
- 2. 外来水生植物除去活動
(NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA))
- 3. ごみアプリを使った河川環境保全活動(同志社大学)



メキシコ 水生生態系研究(メキシコ国立自治大学)



オーストラリア 自動化された動的淡水生態系マッピング
(ニューサウスウェールズ大学)



フィリピン プロジェクト・トライブ:より良い環境に向けたタイタイ川での取組
(タイタイ地方議員)



ハンガリー 淡水藻類研究(HUN-REN生態学研究センター)



ウガンダ 水資源管理への若者の関与(資源生命科学大学)

◆ その他



ユースラムサークルジャパン



SMK 11 セマラン(インドネシア)

2:30

ディスカッション

2:55

WLC20に向けて Way Forward

琵琶湖からオーストラリア・ブリスベンへ SLM Forum to WLC20



WLC20参加支援スポンサー募集中

～湖を守り 湖を救う～ 湖の未来を共に考え、行動しましょう！

世界湖沼会議（World Lake Conference）は、研究者、政府や自治体、企業、地域住民、学生、子どもなど、世界中から幅広い人々が集まり、湖沼や流域の環境問題やその解決策について意見や情報を交換する貴重な国際会議です。

記念すべき20回目（WLC20）が2025年7月にオーストラリアのブリスベンで開催されます。私たちILECは、一人でも多くの方に参加していただき、活動や解決策を共有する場を提供したいと考えています。しかし、特に開発途上国や若年層にとって、渡航費や参加費の負担は大きく、全員の派遣が難しい状況です。

そこで、開発途上国出身者や若年層のWLC20参加を支援するスポンサーを募集します。皆様のご厚志は、渡航費や参加費を始め、WLC20運営サポート費用として大切に役立てさせていただきます。

皆様のサポートが、多くの人々に参加の機会を提供し、湖沼を未来につなぐ力となります。ぜひご支援をお願いいたします。

コース

3万円

5万円

10万円

寄付特典（全コース共通）

- 次の箇所に法人ロゴとウェブサイトのリンクを掲載
 - ILECウェブサイトの寄付ページ、WLC20ページ
- 次の箇所に法人ロゴを掲載
 - ILEC主催のイベント資料、ILEC ニュースレター
 - WLC20会場に設置予定のフォトスポット（インタビューボード）

損金
算入
できます



公益財団法人 国際湖沼環境委員会
International Lake Environment Committee Foundation (ILEC: アイレック)

Email: kifu@ilec.or.jp Tel: 077-568-4567

くわしくは
次のサイトをご覧ください
<https://www.ilec.or.jp/support>

ILEC サポーター

